

2012年4月27日

～ 日本政策投資銀行より先進的モデル企業として特別表彰 ～ 「DBJ環境格付」最高ランクを取得

住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区）は、株式会社日本政策投資銀行（社長：橋本徹 本社：東京都千代田区、以下DBJという）の「DBJ環境格付」において最高ランクを取得し、本日、同制度に基づく融資を受けましたことをお知らせいたします。

「DBJ環境格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて三段階の適用金利を設定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

■ 「DBJ環境格付」最高ランク評価のポイント

住友林業は、「DBJ環境格付」で最高ランクとなる「環境への配慮に対する取組みが特に先進的（特別表彰）」の格付を取得しました。

CSR経営を推進する住友林業は、創業以来300余年の歴史の中で、森のちからを活かして人々の住生活を豊かにし、社会や地球環境に貢献する多様な事業を展開しています。再生可能な資源である木を植え、育て、活用し、また植える。このサステナブルな山林事業を礎に、新たな価値創造に挑戦して参りました。

中でも、1) 生物多様性に関わりの深い企業として、他社に先駆けて「生物多様性条約第10回締結国会議（COP10）」で定めた世界共通の目標である『愛知目標』に対応する長期目標を具体的に事業レベルで落とし込み、行動指針を設定、2) 目標数値と達成期限を明示した「木材調達理念・方針」を策定し、合法性確認の徹底を実現しつつ、森林認証材、植林木、国産材など持続可能な木材の積極利用を推進、3) 当社独自の環境配慮住宅のコンセプトである「LCCM住宅^{*1}」を実現するため、「涼温房^{*2}」や「Smart Solabo^{*3}」などの環境に配慮した住まいづくりを提案しています。木材の調達面では、原材料の50%以上に森林認証材や植林木を利用した「きこりん-プライウッド^{*4}」の販売も積極的に進めており、当社のこうした総合的なサステナブルな取組みが高く評価されました。

住友林業はこれからも、再生可能で人と地球にやさしい自然素材である木を活かし、住生活に関するあらゆるサービスを通じて、豊かな社会の実現に貢献してまいります。

*1 住宅の建設・運用・解体・廃棄までの一生涯に排出するCO₂を減少させるさまざまな技術導入と、それらを使いこなす省エネ型生活行動を前提としたうえで、太陽光、太陽熱、バイオマスなどの再生可能エネルギー利用によって、ライフサイクルトータルのCO₂収支がマイナスとなる住宅。

*2 日本の伝統的な家づくりの知恵や工夫を手本にして、風、太陽、植栽といった自然の恵みを上手に活かす当社独自の設計手法。

*3 自然素材である「木」を活かしながら、太陽光発電・家庭用蓄電池システム・ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）などを採用することで、エネルギーの更なる効率的な活用を実現する当社住宅商品。

*4 森林認証材・植林木などの環境に配慮された木材を材積の50%以上に使用した合板。売り上げの一部を当社がインドネシアで実施している植林活動に充当。

以上

《本リリースに関するお問合せ先》

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 飯塚・池田

TEL : 03-3214-2270

©SUMITOMO FORESTRY CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.